【令和6年度全国学力･学習状況調査分析結果】

我が校の強み弱み分析･評価シート

大津市立瀬田北小学校

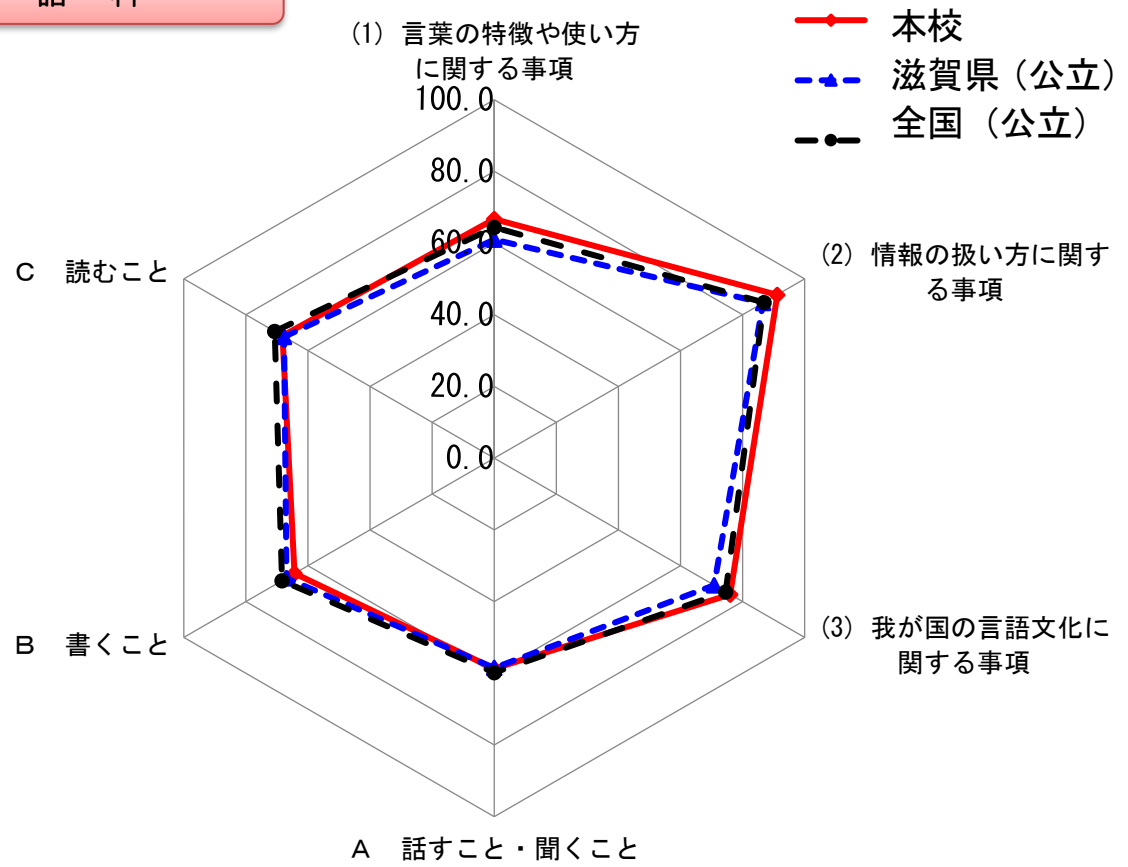
調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握･分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

結果について

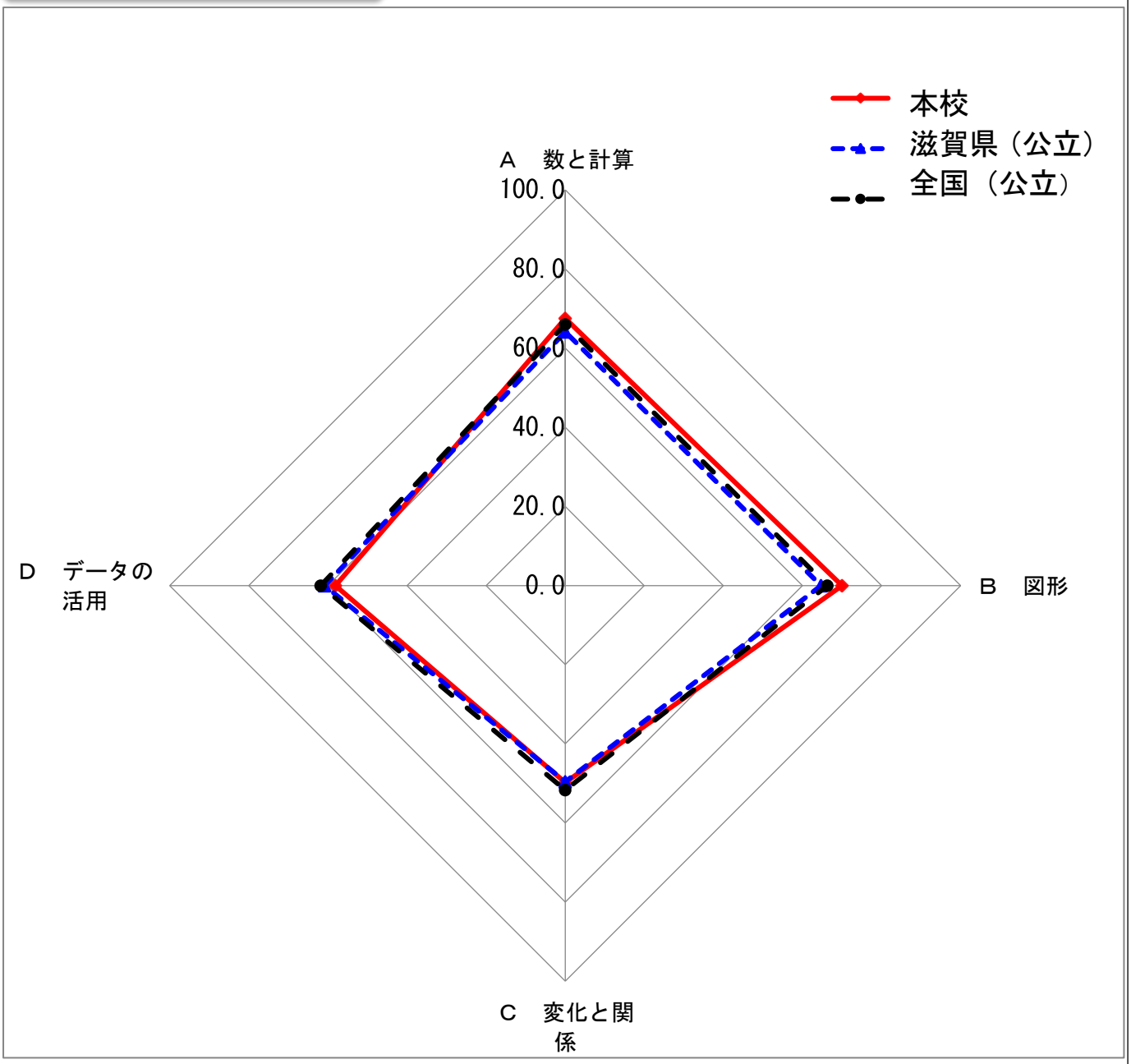
本校では、国語科･算数科ともに、おおむね全国平均と同じです。結果から見えてきた全国平均を上回る｢強み｣を伸ばし、下回る｢弱み｣を改善していきます。質問紙では、全国と比べて肯定的な回答が多かったものと、肯定的な回答が少ないものを分類し、一覧にしています。

国　語　科



【 強　み 】	【 弱　み 】
【言葉の特徴や使い方】 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使ったり、文の中における主語と述語との関係を捉えたりすることができています。	【書くこと】 文章全体から情報を取り出し、分析･整理することや、文の書き表し方に着目して、文や文章を整えて書く力に課題が見られます。

算　数　科



【 強　み 】	【 弱　み 】
【図形】 円や直方体、立方体などの性質について理解し、辺の長さを求めたり、見取り図を正しく描いたりする力に強みが見られます。	【データの活用】 示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表したり、式を見てデータのどこから抽出した情報や数値なのかを理解したりするなどの「読み解く力」に課題が見られます。

児 童 質 問 よ り

【肯定的な回答が多い項目】	【肯定的な回答が少ない項目】
・朝食を毎日食べている。 ・学校に行くのは楽しい。 ・友達関係に満足している。 ・人が困っているときは進んで助けている。 ・普段の生活の中で幸せな気持ちになることが多い。 ・学級の友達と話し合う活動で自分の考えを広げられている。 ・先生は理解していない所をわかるまで教えてくれる。 ・いじめはどんな理由があっても許されないと思う。	・将来の夢や目標がある。 ・国語、算数、英語の勉強は好きだ。 ・学級活動における学級での話合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。

今後の指導の充実に向けて

＜あらゆる教育活動において＞

〇ペアやグループでの話し合い活動を通して、よき聴き手・よき話し手を育てます。

〇発問や課題を工夫し、児童が夢中になって学ぶことができる授業づくりを目指します。

〇挑戦意欲・協同性を高め、達成感を味わえるような学習を仕組みます。

〇生徒指導の3機能を授業で取り入れ、児童が自己決定し、自己存在感を感じ、共感的人間関係を育める授業目指します。

〇意欲を高め、見通しをもって学習に臨めるような「めあて」を提示し、わかったことや考えの変化、めあての達成度などを「振り返る」活動を充実させます。

〇一人ひとりに寄り添い、繰り返し丁寧に積み上げる指導で、基礎基本の定着を図ります。

〇上学年において教科担任制を充実させ、より質の高い授業を目指します。

〇今以上に互いに認め合い、高め合い、安心して学べる教室となるよう、学習ルールや規律を整え、支持的風土にあふれた学級づくりに努めます。

〇文章や図、グラフから必要な情報を取り出す活動を積極的に取り入れます。

〇友達とのやり取りから、相手の意図や思いを感じ取る活動を積極的に取り入れます。

＜教科学習において＞

●国語科・・・「書く」活動へ慣れ親しむために、学習の振り返りや作文など、書く活動を授業に組み込む工夫をします。
目的に応じて必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構成したりする学習活動を取り入れます。
朝の帯時間で「書く活動」を取り入れ、書く力の向上を目指します。

●算数科・・・式だけでなく図や言葉を用いて考えを記述する活動や、自分の考えを説明する活動の充実を図ります。
問題文やデータから必要な情報を読み取って答えを求めたり、分析したりする活動の充実を図ります。